

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 今日は、収穫感謝主日として礼拝をおささげします。
また、礼拝の中で聖餐式と七五三のお祝いと祝福の祈りも行います。
- 11月20日～23日 キムチバザー＆コンサート準備・当日スケジュール
11月20日(木) 準備(白菜洗いと塩漬けなど)
11月21日(金) 準備(白菜洗いと野菜カットなど)
11月22日(土) 最終準備(キムチつくりなど)
11月23日(日) 主日礼拝後

14:00 バザー＆コンサート開始

良い天気と主の恵みを祈りつつ地域へ福音の種まきの時となるよう願います。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



聖餐式

賛美　讃美歌 205

招きの言葉

愛する聖徒の皆さん、救い主イエスキリストを信じ、洗礼を受け、キリストのものとしてふさわしく生きることを願っている者は、全てのこの聖餐に招かれています。いずれの教会員であっても同じ信仰を告白している方は、共に陪餐されますように。まだ、信仰を告白しない、洗礼を受けていない方は、聖餐を受けることは控えるべきであります。救い主イエスキリストを信じて、信仰告白し、洗礼を受け、聖餐に預かる日が一日も早く来るよう祈ります。

祈祷（悔い改めの祈り）

分餐

パンの分餐

ぶどう酒の分餐

祈祷

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香（賛美リーダー） 北原明子（祈祷）

夕方賛美礼拝 柳澄香（賛美リーダー） 平澤寿子（祈祷）

水曜礼拝 松島スヤンティ（司会） 松島浩一（祈祷）

収穫感謝主日礼拝

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧師 柳承吉（ヤナギ ショウウキチ）

副牧師 柳智愛（ヤナギ チエ）

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード	韓芽唯
信仰告白	(使徒信条)
代表祈禱	鈴木真由美
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
(七五三の祝福の祈り)	教会学校
聖書個所	ヨハネの福音書 6:53-58
(主の肉を食べ、主の血を飲む者は命を得る)	
メッセージ	柳承吉牧師
聖餐式	讃美歌 205
賛美	神の家族
祝祷	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード	韓芽唯
代表祈禱	北原孝子
聖書個所	テサロニケ第二 1:1-4 (伝道者の感謝と誇り 2)
メッセージ	柳承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司会	韓芽唯
代表祈禱	鈴木真由美
聖書個所	ローマ書 8:5-14
メッセージ	ローマ書 8 章の概略(3)
主の祈り	柳承吉牧師

今週の御言葉

「主の肉を食べ、主の血を飲む者は命を得る」

ヨハネ 6:53-58

今日は 収穫感謝主日礼拝です。収穫を感謝すると同時に、救いの源であるキリストの体と血を味わい、主が備えてくださった“永遠の収穫”を感謝する日です。これから、聖餐の中心にある新しい契約の意味に入っていきましょう。聖餐はただの儀式でも記念食でもありません。主イエス・キリストが「新しい契約」をご自身の血によって確立された出来事の現実を、目に見える形で私たちに確証する神の恵みの手段です。イエスが語られた「わたしの肉を食べ、わたしの血を飲まなければ、あなたがたのうちに命はありません」(53)この御言葉の深い意味を、聖餐を通して今日あらためて受け取りたいと思います。

1. 聖餐は「新しい契約」の確立である

イエスは十字架の前夜、弟子たちと食卓につき、聖餐を制定されました。その聖餐はただの食事ではなく、「契約の再締結」でした。最初のアダムに対して神は契約を結びました。被造物が神を礼拝し、神に従い、神と共に生きるようにと。しかしアダムは創造主を拒み、反逆し、結果として罪と死が人類に入りました。それでも神は、反逆した人間を見捨てず、再びご自分の民として回復することを望まれました。しかし、契約を破ったのは人間でしたから、契約の回復には「人間」が完全に従順を果たさねばなりません。そこで神は、神ご自身が人となられ、私たちの代わりに契約を守る道を選ばれました。それが主イエス・キリストです。イエスは人となり、律法とすべての神の御心に完全に従わされました。罪の結果は死であり、律法

は「罪を犯す者は必ず死ぬ」と宣言しています。主はその律法の要求どおりに死なれ、ご自身の血によって新しい契約を確立されました。イエスの死は、「人類を神の民として回復する」という神の永遠のご計画の成就であり、新しい契約の確立そのものでした。

2. なぜ「血」による契約が必要であったのか

血こそが救いの保証となるから。

神は、私たちが自分の救いを確信できるように、「血による契約」を与えられました。救いは、ただの宣言ではなく、神の御子が実際に血を流された「歴史的事実」によって保証されています。

聖餐で血を見るとき、救いが「五感」で確証される。

私たちは弱いゆえに、時に救いを疑い、不安になります。そこで主は、見る・触れる・味わう・嗅ぐという「体のすべての感覚」を用いて救いを確証させるために、聖餐を与えてくださいました。

3. 聖餐は「主のために生きる人生」へと導く

主は私たちのために肉を裂き、血を流されました。この現実が心に迫るとき、主のために生きずにはいられません。「主を私のすべてとして生きる」これがクリスチャンの本来の姿です。聖餐は、救いの確実さを確認し、主の血によって結ばれた新しい契約を思い起こし、主のために生きる決断を新たにする、神の恵みの食卓です。今日、私たちが主の体と血にあずかるとき、次の三つを心に留めましょう。私の救いは確実である、主の血によって。私は神の子とされた、主の死によって。私は主のために生きる、主の愛に応えるために。主が流された血を記念し、その愛と恵みに押し出され、主のために生きる歩みを新しく始めましょう。